

希望の星通信

◆〒982-0821 仙台市太白区松が丘25-2

TEL・Fax 022(228)5060

Email: kibounohoshib@yahoo.co.jp

希望の星 ホームページURL <https://npo-hopestar.com/>

希望の星 ブログURL <https://ameblo.jp/kibounohoshi-b/>

◆〒980-0005 仙台市青葉区梅田町5-18

TEL 080-9638-8199

第29号

発行日2026年(R8).4.10



桜の開花の季節になりました。4月を迎え「希望の星」も利用者と職員に活気があふれて、昼食時などに楽しい会話が交わされています。
新年度も皆様のご支援をよろしくお願いいたします。



**全国視覚障害者福祉大会(仙台会場) 記念品
アクリルたわし、コースター、袋 500枚 完成する。**



2026年6月7日(日)、8日(月)に「全国視覚障害者福祉大会」が仙台で開催されます。
3月末での大会参加予定人数は500名近くになりました。

希望の星が記念品の製作依頼を受け、3月末までに500個のアクリルたわしとコースターを完成させました。利用者が、長い時間を掛けて、コツコツと製作した魅力的な製品ばかりです。また、製品を入れる袋も、点字用紙を利用して作製されました。大会に参加される全国の方々に、希望の星の製品が手渡される日がもうすぐです。待ち遠しいですね。

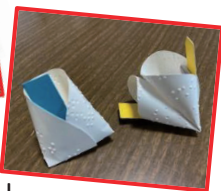


点字と点字用紙の可能性を社会にひらく取組に、利用者と共に取り組む事業の報告

**「みえない人みえるひとが協力して点字を捉え直す仕事づくり」
～「点字くじ」と「点字でビンゴ」の紹介～**



「点字くじ」



点字用紙の可能性を探る取り組みの1年間が経過しました。

そして、ついに「点字くじ」と「点字でビンゴ」の試作品が完成しました。

これをどのように活用するか、どう広げていくか、次の1年に引き継ぎます。



「点字でビンゴ」



**「東北楽天ゴールデンイーグルス」開幕前
スタジアム清掃作業に11日間取り組む**



今年も、3月に楽天から「開幕前スタジアム清掃作業」の案内が来ました。
今年で3回目の参加です。希望の星では、参加者を募り、利用者3名と職員2名計5名で毎回参加しました。
お天気にも恵まれ、清掃日数もこれまでで、一番多く、11日間の参加でした。

2か所の座席エリア(合計5,000席ほど)の座席背面コンクリート部分の砂落としと、最後の2日間は座席を拭く作業でした。膝あてをしながら中腰姿勢での作業なので、「腰にきます!」「疲れが取れません。」の声が聞かれました。今年も大変な作業に取り組んで頂きました。お疲れ様です!

「希望の星」これまで～そして現在（総集編）

NPO法人ビートスイッチは、以前から視覚障害のある方たちと深くかかわってきました。視覚支援学校（当時は盲学校）の複数の教員がビートスイッチの会員やボランティアとして活動しており、学校を卒業した後の長い人生を皆さんどう過ごしているのかが気になっていたというのが、かかわりのきっかけです。

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

卒業生の中には、「一人では出かけたくとも出かけられない」「専攻科で努力してあん摩マッサージ指圧師の国家資格を取得したけれども就労につながっていない」「あん摩の仕事を辞めてしまった」「専攻科は自分には向かなくて途中でやめた」など様々な方がおり、何かお手伝いができないかと動き始めました。始まりは「家を出てみんなで集う活動」です。一人では不安だけれど、やってみたいことを一緒に考えて、一緒にやってみようからの支援。恐竜山サロンに集まり、囲碁や将棋をさす人、カラオケで歌う人、おしゃべりに花を咲かせる人、その間、キッチンでは昼食作り、美味しいお昼を皆で味わい、「じゃあ、またね!」。温泉ツアー、観光地へのドライブ、サッカー観戦、美術館でのアートミーツの会、「音の展覧会」の開催、とにかく余暇活動を大いに楽しみました。

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

そうした「集う」活動から変化の兆しが現れます。「仕事をしたい」という声です。そこで「一緒に遊ぶ」から「一緒に働く」場の創出へと舵を切り、まず取り組んだのが就労継続支援B型設立準備実行委員会。「BB（Blind_Btswc）親の会」を立ち上げ、視覚支援学校の教員有志とタッグを組み、平成26年12月に第1回実行委員会を開催しました。月1回ペースの準備会議で検討したことは、場所、支援体制、利用者、仕事の内容、収益を上げるための戦略、設立基金。重視したのは、①支援者は視覚障害者支援について専門的な知識や技能・技術があること、②仕事は本人の得意ややりたいことが生かせること、この2点。場所は恐竜山サロン活用に決まり、準備金を最低300万円確保するために、寄付を募ることにしました。視覚支援学校の旧職員と現職員、視覚障害支援関連機関、卒業生の保護者等々、思いつく限りの方々に依頼文書をお送りした結果、驚いたことに1カ月で400万円の寄付金が集まりました。

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

平成27年10月1日、設立の趣旨に賛同してくださった多くの方々のご厚意とご支援により、就労継続支援B型事業所・希望の星がいよいよスタートしました。利用者7名、職員6名からの始動です。

年	出来事（希望の星&ビートスイッチ）	利用者数	職員数
2015.10.1（H27）	◆希望の星（八木山本町二丁目）設立 点字部門 あん摩マッサージ指圧部門	7	6
2016（H28）	クラフト部門 パソコン部門 農業部門	10	11
2017.4.1（H29）	◆希望の星 梅田クラブ（従たる事業所）設立	14	13
2018（H30）	◆相談支援事業所 ラ・ビジョン 設立	18	12
2019.5.1（R1）	◆共同生活援助・短期入所 六星庵 設立	22	13
2020（R2）	<新型コロナ感染拡大> ▶コロナ禍の甚大な影響～工賃の激減 通所が不安 あん摩マッサージ指圧施術“ゼロ” 点字名刺の注文がない 営業に行けない 販売会・イベントがすべて中止	25	13
2021（R3）	▶クラウドファンディングの実施 10万円達成 !!! ▶新たな工夫 在宅利用・オンライン支援の活用 受注作業の開拓：中古本通販事業、軽作業 高齢者宅のゴミ出し支援、庭の草取り支援 宮城官民応援団プロジェクトへの参加	23	16
2022（R4）	◆希望の星 松が丘に移転	26	18
2023（R5）	豆腐製造販売スタート !!! 「大豆丸ごと豆腐」 ～業務が順調に回復、工賃が徐々に向上～	27	18
2024.4.1（R6）	◆同行援護・居宅介護事業所 エンジョイウオーク 設立	26	22
2025（R7）	◆希望の星10周年を迎える !!!	26	21